

報告事項イ

鳥取県立美術館の整備運営事業の進捗状況について

鳥取県立美術館の整備運営事業の進捗状況について、別紙のとおり報告します。

令和3年12月20日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

# 鳥取県立美術館整備運営事業の進捗状況について

令和3年12月20日  
美術館整備局美術館整備課

令和7年春の開館に向け、来年1月に予定されている建設工事着工を機に県内外への情報発信、機運醸成を進める取組みと、特色のひとつとなる美術ラーニングセンター(仮称)機能の検討状況等について報告します。

## 1 県立美術館の整備スケジュール

時期	概要
令和3年1月～	実施設計
令和4年1月	建設工事着工
～令和6年3月	建物完成引渡し
令和6年度	建物枯らし期間・開館準備(収蔵作品移転等)
令和7年春	開館(令和6年度中)

## 2 「みんなでつくる」県立美術館 建設着工の集い」の実施

県立美術館の建設工事が令和4年1月に着工されることを機に、施主となる鳥取県立美術館パートナーズ株式会社(PFI事業者)と一体となり、地域の関係団体の皆様と共に、「みんなでつくる」県立美術館 建設着工の集い(安全祈願祭・起工式、記念講演会など)を実施することにより、情報発信、機運醸成の取組を全体的に進める。

### (1)安全祈願祭・起工式(主催:PFI事業者)

- ・日時 令和4年2月11日(金・祝) 午前11時から正午まで
- ・場所 美術館建設予定地(旧ラグビー場)
- ・出席者 鳥取県立美術館パートナーズ(株)構成企業、鳥取県及び鳥取県議会関係者、地元自治体、県文化団体連合会などに案内状を送付する。

### (2)県立美術館設計事務所による記念講演会

- ・日時 令和4年2月13日(日)午後
- ・場所 倉吉未来中心 大ホール
- ・講師 榎総合計画事務所 長谷川 龍友 取締役副所長
- ・演題 「美術館の「ひろま」が地域を切り開く(仮)」
- ・出席者 安全祈願祭・起工式の出席者に加え、各国会議員、各県議会議員、市長会・市議会議員、町村会、町村議会議員、各文化団体、設計・建築関係者、高等教育機関などに案状を送付するほか、広く県民にも周知する。
- ・その他 記念講演会開催の午前中には、①建築工事に関わる伝統行事(石場から)、②工事期間中設置する仮囲いを活用したアート展示を実施予定

### (3)県立美術館のパス及び榎総合計画事務所の代表作品を紹介する巡回展示

- ・時期 令和4年2月から
  - ・場所 倉吉未来中心アトリウムを皮切りに県内各所に巡回展示予定
- ※このほか、「県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会」も講演会やワークショップを実施予定

## 3 運営に係る主な取組(美術ラーニングセンター(仮称)機能の検討)

### (1)県立博物館美術展への小学生のバス招待

美術館開館後の小学4年生(又は3年生)招待に向けて、県立博物館の美術展への招待を先行実施中。今年度は、11～12月に8校・9回 496人を招待した。

12月8日(水)には、県立博物館に招待した鳥取市立美保小学校の児童100人に対して、鳥取短期大学の学生30人が対話型鑑賞のファシリテーターを務めた。

### (2)対話型鑑賞ファシリテーターの養成

「とっとりプラットフォーム5+α」との連携により、県内高等教育機関で対話型鑑賞による鑑賞授業を横展開している(6月14日(月)鳥取短期大学、12月15日(水)米子工業高等専門学校)。

### (3)教員を対象とした研修の開催

11月25日(木)に対話型鑑賞を学ぶ県教育センター主催の専門研修を博物館の美術展を会場に実施した。22人の教員が、本物の美術作品に触れながら、授業での対話型鑑賞の進め方やポイントを学んだ。

### (4)具体的な機能の構築

平成29年度にエキスパート教員等による検討委員会を設置して情報の収集・分析・蓄積等を行っており、具体的な機能や業務内容を県教育委員会関係課でワーキングして、市町村教育委員会や学校などとの利用の調整を進めていく。

## 4 その他

出前説明会を開催するなどして、PFI事業者と一体となって全県的な機運醸成を行っている。

【出前説明会の実績】文化団体、公民館、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、経済同友会、大学生などに対して、32回(11月末現在)実施した。 ※令和2年度実績30回